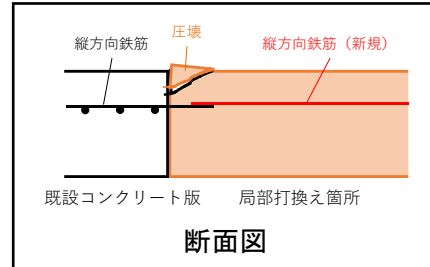


発生箇所	③コンクリート版表面, ⑤コンクリート版内部
分類	維持修繕
参考箇所	-

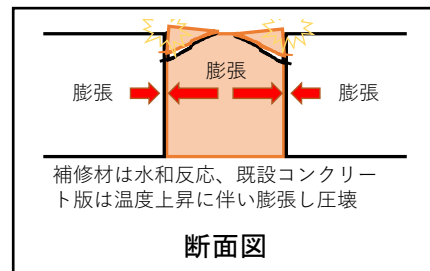
●内容

- ・夜間に局部打換えを実施した翌日に、打換え箇所と既設コンクリート版の境界部で圧壊が生じた。



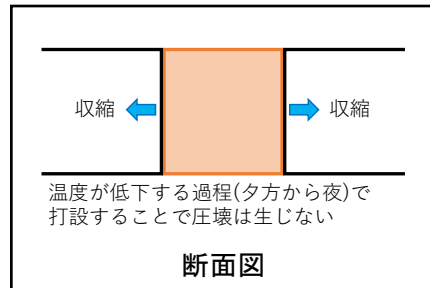
●原因

- ・既設連続鉄筋コンクリート版の一部が撤去されたことで軸方向の拘束がなくなり、かつ夜から昼にかけて温度が上がる時間帯に施工したため、既設コンクリート版が水平方向に膨張すると同時に、新たに打設したコンクリートの膨張も加わることで圧壊が生じた。



●発生防止策

- ・既設コンクリート版の温度が低下していく時間帯（夕方から夜にかけて）に打換え箇所のコンクリートを打設する。



●発生した場合の対応策

- ・圧壊した箇所付近のコンクリート版について広い範囲を局部的に打ち換える。その際、夕方から夜にかけてのコンクリートの温度が低下する時間帯に打換え箇所の打設を実施する。

